

目 次

総 説

- 口腔がん過去 45 年間の研究・臨床から回想される歴史的経験
— 特に未記載および後継者に託したい事項を中心として —
〔Ⅲ〕1965 年より 2003 年にわたる 38 年間55
清 水 正 嗣

原 著

- 口腔扁平上皮癌の治療法と予後に関する臨床的検討
1. 手術例の原発巣制御について65
梅 田 正 博, 南 川 勉, 尾 島 泰 公
小 松 原 秀 紀, 重 田 崇 至, 澁 谷 恭 之
横 尾 聡, 古 森 孝 英
- 口腔扁平上皮癌の浸潤先進部における脈管密度の検討
— 特に癌浸潤様式に伴う血管密度とリンパ管密度の推移の比較 —75
中 谷 弘 光, 川 尻 秀 一, 田 中 彰
能 崎 晋 一, 野 口 夏 代, 加 藤 広 禄
長 谷 剛 志, 中 川 清 昌, 立 川 哲 彦
山 本 悦 秀

臨 床

- 臨床発育様式からみた T1, T2 舌扁平上皮癌の
悪性度評価に関する臨床病理学的検討83
姉 川 絵 美 子, 古 賀 真, 岩 本 修
楠 川 仁 悟

関連国際学会参加記録

- 2006 年度 ICMFS・学術集会（イタリア Grado において
第 11 回 ICOOC 国際口腔癌学会と共催）参加報告91
池村邦男 渉外委員長
茂木健司 渉外委員, ICMFS P-elect
（清水正嗣 ICMFS Honorary P.）

会 則

口腔腫瘍研究助成基金運用規定
投稿規定